身近な話題を笑い話で口演しています。

また聞きたい！
もっと聞きたい！

高齢者の生きがい　生きる力を考えてみよう
人権の基礎は相手を褒める余裕
日本の神様　日本人の底力
コミュニケーションの力

口演家
矢野大和の「笑って元気！」

鷹鳥屋神社宮司（佐伯市宇目町）

はじめまして、矢野大和です。

昭和31年7月7日生まれ。大分県佐伯市宇目町出身。鷹鳥屋神社の宮司の長男として生まれ、現、神職。
田舎のお宮は生活ができないため宇目町役場（現：佐伯市宇目振興局）に就職。役場では、長きにわたり教員委員会での生涯学習の仕事に携わりました。平成7年には、宇目町に完成した道の駅「うめ」の初代店長を任命され、イノシシラーメンを考案し、黒字経営（5年間で2億円宇目町に寄附の基礎を作った）で宇目町に貢献。平成13年4月には、当時の町長である小平町長にその手腕が認められて「職場に来なくて良い役場職員」として役場を飛び出して、営業を中心とする観光大使となり口演活動が仕事になりました。佐伯市と合併後は、佐伯市観光大使として活動。平成19年50歳には佐伯市役所を退職。平成23年おおいた観光特使に任命されると、高校時代に始めた落語が高じて、話の中に笑いを入れることから講演を口演として活動。ここ10年間では、全国各地で毎年400回を超える口演を行っています。（が、コロナ禍の3年間に1割まで激減）
まだまだ現役、「笑って元気！」いまも月30回以上の講演を目指して口演活動中。

経　　歴

昭和31年	鷹鳥屋神社の社家の長男として生まれる
昭和55年	國學院大學　経済学部　卒業
	宇目町役場に勤務　鷹鳥屋神社　宮司になる
昭和64年	国民文化祭さいたま
	全国素人落語競演会にて最優秀賞を受賞
平成13年	「宇目町観光大使」に任命
平成17年	佐伯市職員となり「佐伯市観光大使」に任命
平成23年	「おおいた観光特使」に任命
	大分合同新聞文化教室「話し方教室」を開始
平成27年	テレビ朝日「お坊さんバラエティぶっちゃけ寺」出演
平成28年	「話し方教室」受講生が累計100名を突破
令和　4年	大分合同新聞文化教室
	「楽しい神社のイロハ」を開始

活　動　歴

文化活動	若手噺家を大分に迎えて落語会の開催
執　　筆	書籍「笑って元気」(家の光協会)
	「続　笑って元気」(家の光協会)
	「続々　笑って元気」(家の光協会)
	「もっと笑って元気」(家の光協会)
	大分合同新聞社発行「セーノ」
	大分合同新聞コラム「灯」
	宮崎日日新聞「客論」
テレビ	NHK大分「しんけん海賊船」
	佐伯CATV「大和と対話」
	佐伯CATV「大和の笑って元気!!」
ラジオ	NHK「おはようテレフォン」
	OBS「土曜の朝はビ・フレッシュ」
	OBS「宮司と対話 日本のこころ」

お問い合わせ

矢野大和事務所　☎0972-54-3402

〒879-3302　大分県佐伯市宇目大字南田原616-1番地
http://yanotaiwa.com/

[公式]矢野大和チャンネル

矢野大和の口演（短編）がお楽しみいただけます。

YouTube

生きる力を考えてみよう
個性より基礎基本
ピーマンの行方
コロナに罹りました

高齢者の生きがい
必要とされる喜び
たか君の通学路
脂肪届

人権の基礎は相手を褒める余裕
父親の教え
一芸は身を助く
落ちたコロッケ

笑って元気！

コミュニケーションの力
家族が一番
キャビンアテンダントの桜庭さん
17文字の文学

日本の神様
和みの心
ご先祖様を喜ばせる
1メートルは一命を取る

日本人の底力
復興の国ニッポン
ジョージ有吉の一片のパン
ウォシュレットの威力

矢野大和の口演は

人権

人権と言うとどうしても固い講演を考えてしまいますが、矢野大和の口演は何気ない生活の中の身近なものから笑いを通して人権を捉えていきます。努力して変わる事もたくさんありますが、頑張っても変わらない事を言うのが差別と考えます。笑いありの人権は珍しいと言われています。

高齢者

日本の高齢者はもっと自信を持たなくてはいけません。自分が社会の一員であることを自覚し、社会の役に立てる事を考える。その第1歩 が「教育（今日行く）と教養（今日用）」です。今日行くところがある。今日する用事がある。それが社会参加に繋がり、認知症予防にもなるのです。

コミュニケーション

インターネットの時代になりました。同じ部屋の中にいる人にメールをする人もいる位、会話が苦手な人が増えています。コミュニケーションの不足が人間関係を悪くしストレスに繋がります。自分の思っていることを上手に伝えストレスをなくしましょう。コミュニケーションに不足している事を一緒に考えていきましょう。

日本人の底力

世界から尊敬を受けている日本人なのに、日本人自体が自信を失っています。悪いことがよくニュースに出るためそれが日本だと思ってませんか。珍しいからめったにないからニュースなのです。選挙の投票率の低いのも、平和だからです、安定しているからです。もっと世界が称賛する日本人になるために、皆さんと考えましょう。

他にも、テーマに合わせた口演を行っています。

鷹鳥屋神社（たかとりやじんじゃ）
健治元年（１２７５年）に初代神職、矢野彌忠治橘吉高により建立された神社です。
矢野家は古来、藤原姓。嚢祖は備後国矢野の庄に赴任され、名字を藤原から矢野に変えました。その後越中国立山の城主になりましたが、戦乱の世、戦いに敗れました。古くから信仰していた熊野の神が「汝、急ぎ筑紫に下り、熊野の神を祀るべし」とご神託がありました。そこで豊後の国、大友頼泰卿を頼り、豊後に逃げ込むことになります。頼泰卿は、豊後と日向の境に鷹鳥屋山という霊山がある、そこに下り、南から攻めてくる一群をいち早く見つけ大友に協力してほしい。豊後の都、府内から日向境を目指し南下することになります。梓峠で白鷹が二羽出てきて案内をしてくれ、難なく鷹鳥屋山の頂上に着くことが出来ました。ここに、矢野家の氏神様として熊野の神をお祀りし、彌忠治は初代神職となり、代々矢野家が社家となりお守りをしている神社です。爾来、氏神様から、宇目郷の産土の神になり、郷内に５カ所の遥拝所が設けられ、豊作の神として、多くの信仰を集めました。現在境内は、自然林が生い茂り、５００年を超す杉をはじめ広葉樹の大木が生い茂り、パワースポットとして、多くの信者を有する信仰神社として参拝者が後を絶えません。